

# 高知くらしの護身術

354

## サクラサイト

### 最近の手口はSNSから

(2015年4月21日掲載原稿)

芸能人やお金持ちなどの人物になりすました「サクラ」を使ってサイトに誘導し、メール交換などの有料サービスを利用させる「サクラサイト商法」。消費者の心理につけ込む古典的な手口ですが、今も被害の相談が寄せられています。

被害に遭うきっかけは、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）への登録などが多いようです。

誘導の手口はいろいろとあります。

最近ではスマートフォンの普及に伴い、利用者が急増しているコミュニケーションアプリのメッセージなどを通じて誘導する手法も増えています。

全国ではこんな事例も報告されています。

ある日、コミュニケーションアプリを通じて「連絡がほしい」とメッセージが届いた。知人しかメッセージは送れないと思っていたので返信すると、芸能人のマネージャーを名乗る人物から、「タレントの相談に乗ってほしい。一時的にメール交換できるサイトを用意する」と返事が来た。

案内されたサイトで無料のメール交換を始めたが、途中からポイントの購入が必要になった。やめようとしたが、芸能事務所の秘書をかたる人らから「本当に感謝している。後でお礼はする」と何度も電話があった。結局、計約30万円を支払ってしまった。

こうした被害に遭わないために、次の点に気を付けましょう。

1. 不審なメールには返信しない。
2. 本当かどうか確認できないことを言う相手とメールしない。
3. 登録や一定期間の利用が無料でも、途中から有料となるサイトも多い。有料になった時点で利用を止める。

いったん料金を支払ってしまうと、業者はなかなか返金に応じません。料金を支払う前に、最寄りの消費生活センターや市町村窓口にご相談しましょう。